

鳥獣対策だより

野生動物の被害対策は、個人でできる対策と地域ぐるみの対策があります。複数の人が協力して取り組む対策は、より効果的な対策といえます。今回は、地域ぐるみの対策の方法をご紹介します。



地域ぐるみの対策

① 集落点検 — まずは調べてみる

集落内に、動物の痕跡、餌になるもの、潜むことができるやぶなどがあるか、地図を使って調べましょう。調べた情報は地図に書き込むなどの方法で、皆で共有しましょう。



② 計画づくり — 調べた内容をもとに話し合う

集落点検で集まった情報をもとに、課題を整理し、必要な対策を洗い出しましょう。次に、どこでどのような対策をするか、話し合っ優先順位を決めましょう。



③ 対策の実施と継続 — 実際にやってみる

対策の例としては、やぶの刈り払いや誘引物の除去などの環境整備、防除柵の設置などがあります。対策した後は、分担して点検を継続し、対策の効果が続くようにしましょう。



地域での取り組み事例は裏面です

浪江町藤橋地区では、住民の方々が協力し合い、町や福島県避難地域鳥獣対策支援員によるサポートのもと、地域ぐるみで鳥獣被害対策を実施しています。実際にどのように対策を進めているのか、具体的な事例をご紹介します。

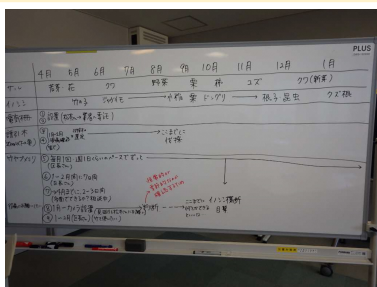
浪江町藤橋地区での取り組み

① 集落点検 (2021.11.10)

住民、町、支援員で集落内を点検し、鳥獣被害対策が必要な場所を確認しました。



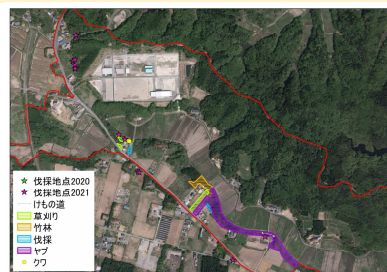
現地確認の様子



ホワイトボードで計画をまとめる

② 計画づくり (2021.12.13)

集落点検で確認した場所を地図化し、「いつ・誰が・どこで」対策を行うか具体的に話し合いました。



追加情報を加えて地図化

③ 対策の実施と継続 (2022.7.15)

これまでに行った対策の進捗状況や、新たに明らかになった問題点などを確認しました。この結果を今後の対策に役立てる予定です。

くわしく知りたい方は

「復興庁 **イノシシ被害対策技術マニュアル**」で検索！

<https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-4/wildlife/20190118111241.html>

ページの下方向対策技術マニュアルがあります。(データ通信料が発生します。)



福島県では、避難地域鳥獣対策支援員を避難地域12市町村に配置しています。地域住民と共に鳥獣害対策に取り組み、コミュニティの再構築を図ることを目的としています。



対策のご相談、情報提供はお住まいの市町村役場の担当課へ！